

第76回登別市市民自治推進委員会 育み部会議事録

(敬称略)

開催日時	令和5年9月25日(月) 18時00分～
開催場所	アーニス 2階 あえる STATION
出席者	(部会長) 大熊龍也 (部会員) 合田美津子、仲川弘誓、佐藤文子 (読書活動家) 松山哲男、武者正樹、河上邦子、藤原明日香、 鎌田真理子 (庁内委員) 舘下貴子、下沢亮一 (事務局) 大越智輝、鳥海秀充、相馬杏
欠席者	(副部会長) 神谷博達 (部会員) 磯田大治、大坂倫一 (読書活動家) 松平孝子
議題	育み部会絵本コーナーについて
配布資料	・第76回「育み部会」資料(部会長作成)

※読書活動家の方々にもご参加いただき、育み部会絵本コーナーについて協議した。

○会議の要点

1 本日の協議

(1) 第20回絵本コーナー「ブックファームあーにす」の振り返り

- ・今回の読み聞かせ担当団体は「EHOボラ」
- ・来場親子は2組、子どもは3歳くらいの幼児が2名だった。
- ・来場時間を長くする工夫として、空気砲やブロックなどをご準備いただいた。
- ・当日は、三連休の初日ということや、天気が非常に良かったこともあり、来場者が少なかつたため、今後、絵本コーナーを開催する中で、日程についても調整が必要なのではないかと感じた。
- ・当日は、アーニス館内で呼び込みを行ったが、子ども連れのお客さんが少なく、絵本コーナーへ足を運んでくれる方が少なかつた。同日、幼稚園の運動会なども行われていた。
- ・9月16日(土)の室蘭民報「ウィークリーガイド」にて絵本コーナーの開催案内が掲載された。
- ・絵本コーナー開催時の絵本の貸出は2冊。
- ・登別明日中等教育学校の学生の参加について、10月開催の絵本コーナーに見学に行く旨連絡があった。
- ・10月の絵本コーナー開催時に、絵本コーナーの前のスペースで期間限定のお店

が開設される。多くの来場者やBGMが流れることが予想されるため、拡声器などを使用した読み聞かせなど工夫が必要。

- ・絵本コーナーの取組の次の段階として、読書活動家の方よりまちライブラリーの概要説明をいただいた。
- ・まちライブラリーは1つの本を通して、まちの人たちが繋がって行くようなイメージ。市内各所に設置されているまちライブラリーの本には、感想カードが付いており、読んだ人が自由に感想なりを書くことができる。また、まちライブラリーの本は、一定の期間で移動するため、まちの知らない人とも本を通して繋がることのできる本のリレーとも言える。
- ・この本のリレーの活動に限らず、まちライブラリーの可能性として、すでに本の活動をしている方を支援するようなことも可能だと考えており、市内の中学校や高校の図書館などの本の活動をしている生徒の活動内容をアーニスに掲示した他、絵本コーナーにおいては、活動場所であるあえる STATION に設置してある本棚の寄贈や絵本の提供などもある。
- ・まちライブラリーは、自分が図書館のオーナーのようなもので、ルールなども自分で決めて行っている。本によっては貸出を行わず、その場で読んでいただくのも1つの方法ではないかと思う。
- ・まちライブラリーで、自分のオススメの本を紹介するコーナーがあり、紹介した人の顔写真つきで、本を紹介している。絵本コーナーでも実施するのも良いのではないかと考えている。
- ・棚貸し書店や棚貸し本屋という新しい形の書店が流行っている。棚を借りて好きな本を置く。自分がその書店のオーナーになる。登別でもそのような場、コミュニティーづくりができる本屋ができると良いと思っていた。

(2) 今後の予定

- ・次回、第21回ブックファームは10月21日（土）10：00～12：00。

2 その他

○読書活動団体退席後、改めて部会員と協議を行った。

- ・前回部会でも協議したが、登別市市民自治推進委員会全体会議での依頼内容について、意見を聴取した。
- ・前回までの協議の中で、育み部会としては「部活動の地域移行について」情報提供をしてほしいこと、また「市民自治とは何か、委員全員で振り返り、再確認をする必要がある」ことなどがあがっている。
- ・また、市役所新庁舎建設に伴い、現在の庁舎跡地など公共施設が抜けた後のまちづくりについて、中央地区まちづくり協議会等で協議が進められていると思うが、中央地区に限らず、市公共施設の建替や移動などの話が行われる際には、育み部会としても考えて行きたいところである。

3 次回の育み部会について

- ・開催日等は事務局より後日連絡することとした。(12月開催予定)